

2017年1月1日以降の実績

1号機

・原子炉注水量について、以下のとおり低減操作(STEP②)を実施。

操作開始時間:午前10時40分

操作終了時間:午前10時45分

原子炉注水量:4.0m³/h→3.4m³/h

操作前後において、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器内温度、格納容器ガス管理設備ダストモニタ等のプラントパラメータに有意な変動がないことを確認。

引き続き、プラントパラメータを監視し、原子炉圧力容器底部温度および原子炉格納容器内温度の上昇が想定範囲(低減操作前と比較して7℃以内)で安定したことを確認後、2017年1月下旬に次の低減操作(STEP③)を実施予定。

2号機

現時点での特記事項なし

3号機

現時点での特記事項なし

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4、H6エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

・1月6日午前10時10分頃、福島第一原子力発電所構内H5タンクエリア西側にある、RO濃縮水槽から多核種除去設備へRO濃縮塩水を移送するポンプの出口弁より、5～10秒に1滴の水の滴下があることを、協力企業作業員が発見。

床面に滴下した水の量は、約20L(約2m×1m×深さ1cm)で、床面に留まっており、周辺に流れた形跡はない。

当該弁の保温材を取り外して状況を確認したところ、当該弁からの水の漏えいは確認されていない。

水の滴下箇所床面の表面線量率を測定した結果(2箇所)、1箇所はバックグラウンドと同等、もう1箇所はバックグラウンドの約10倍であったが、滴下している水を直接スミヤク紙にしみませ測定した結果、バックグラウンドと同等であり汚染は確認されていない。

よって、滴下した水は、保温材にしみ込んでいた雨水等が滴下したものと判断した。

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

・一時貯水タンクA 12月31日午前10時4分～午後4時47分。排水量976m³

・一時貯水タンクB 1月2日午前9時57分～午後3時3分。排水量737m³

・一時貯水タンクC 1月4日午前9時57分～午後2時22分。排水量639m³

・一時貯水タンクD 1月5日午前9時42分～午後4時17分。排水量954m³

・一時貯水タンクE 1月6日午前10時6分～

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

・一時貯留タンクグループ3 1月3日午前9時53分～午後4時38分。排水量1,669 m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

その他

現時点での特記事項なし

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし